

海外安全対策情報

【定期報告：7月～9月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 6月より発生していたタクシー（乗合バス）団体同士の抗争がさらに激化し、7月は銃撃による死傷者数が急増、軍が出動し沈静を図る事態となった。原因となっているルートを閉鎖し事件数は減少しているものの、未だ不定期に発生しており解決していない。
- (2) ケープタウン領事事務所管轄地域の2021年7月～9月における邦人に対する被害の報告件数は2件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害情報 なし

イ 邦人以外の情報

(ア) タクシー団体 The Cape Amalgamated Taxi Association (CATA) と The Congress of Democratic Taxi Association (Codeta) のルートを巡る抗争により7月だけで20人以上が死亡、停戦に向けて警察と軍隊が配備されて Bellville と Paarl を結ぶルートが閉鎖された。

(以下、7月～9月のタクシー関連の銃撃事件を一部抜粋して記載)

- ・7月5日、Bellville で走行中のタクシーが銃撃を受け4名が重傷。
- ・7月7日、Philippi、Parow、Milnerton Rural など別々のエリアで同日に計4回の銃撃があり4人死亡、5人重傷。
- ・7月13日、Khayelitsha、Delft、Delft Southなどで銃撃が発生し3人の男性が死亡、5人が重傷。
- ・7月19日、ケープタウン空港目の Borchard's Quarry にて、タクシーの代替として運行されているゴールデンアローバスが襲撃され運転手が重傷。
- ・7月30日、同じく Borchard's Quarry にて、タクシー同士の銃撃戦があり流れ弾によりゴールデンアローバス運転手が負傷。
- ・8月3日、Milnerton のタクシー乗降場で、抗争とは関係ない運転手が襲撃を受け死亡。
- ・9月22日、Milnerton のタクシー乗降場で銃撃が発生し3人死亡、1人重傷。

(イ) 8月27日夜間、Paarl East でギャング抗争による銃撃戦があり3人が死亡、1人が重傷を負った。

(ウ) 9月4日、Wellington において、覆面を被った何者かが銃を乱射し外国人を

含む4人が死亡、1人が重傷を負った。

(エ) 9月6日、Mfuleniにおいて、4人の遺体が川に投げ込まれたという通報を受けて警察が捜索を開始。行方不明の4人とは別の遺体3体も発見された。これらの殺人行為は、当該地区の自警団が関係していると思われる。

(オ) 9月18日14時頃、Nyangaにおいて路上にいた男性らが通り掛かりのミニバス内からの銃撃を受けて3人が死亡、1人が重傷を負った。また、流れ弾により付近にいた女性1名も負傷した。

(カ) 9月21日08:00頃、Philippiの小学校において、敷地内の駐車場に停車中の車内に座っていた教師が襲撃され死亡した。多くの教師や生徒が見ている中で犯行だった。

(キ) 9月27日20:00頃、Khayelitshaにおいて、10代を含む若い女性3人が頭を撃たれて死亡しているのが発見された。

(2) 強盗

ア 邦人被害情報

(ア) 7月14日、ケープタウン駅近くのShopriteにおいて、邦人が黒人男性にATM操作を誘導され、クレジットカードとデビットカードを騙し取られる事件が発生。ATM周辺には仲間とおぼしき男性もおりグループによる犯行と思われる。

イ 邦人以外の情報

(ア) 7月24日、Manenbergの小学校で侵入強盗が発生、犯行現場に遭遇した警備員が襲われて病院に搬送されたが死亡した。

なお、7月の長期休校期間に38の学校で強盗被害が発生しており、スポーツ用品やコンピューター等の被害総額は1,000万ランドにおよぶとのこと。

(イ) 7月27日、Mowbrayのバスターミナルで、10代の少年2人が、2人組の銃器で武装した覆面強盗により襲撃され負傷。強盗は財布と携帯電話を奪い逃走した。

(ウ) 8月4日、Otteryにおいて、食肉輸送トラックがハイジャックされ60万ランド相当の食肉と車両が強奪された。その後調査により、同様の犯行で強奪されたトラック9台を押収し19人が逮捕された。

(エ) 8月25日、GoodwoodからBellvilleに向かうタクシー内で、女性が運転手とその仲間に唐辛子スプレーをかけられハンドバッグを強奪された。タクシーには複数人乗車していたほか走行ルートを一変し犯行に及んでいることから、計画的な犯行と思われる。

(3) 誘拐・脅迫・強姦

ア 邦人被害情報 なし

イ 邦人以外の情報

(ア) 8月1日、Bellville Southにおいて、93歳女性が裸の状態自宅で死亡しているのが発見された。その後25歳の男が強姦と殺人の容疑で逮捕された。

(イ) 9月16日、Stellenbosch 大学病院内で、精神病棟に入院する15歳の少女が施設内トイレで別の患者に強姦される事件が発生した。

(4) その他

ア 邦人被害情報

(ア) 7月8日、Green Point において、邦人がメインロードを歩行していたところ、突如ホームレスと思われる男から後頭部を殴られる事案が発生。幸い大きな怪我はなく邦人はその場を回避した。

イ 邦人以外の情報

(ア) 8月26日、Milnerton において、約20kg、700万ランド相当の覚せい剤（メタンフェタミン）を所持していたとして24歳の男と29歳の女が逮捕された。南アフリカでのメタンフェタミン市場は年間約140億ランドとされており、大麻に取って代わる麻薬として懸念されている。

(イ) 9月25日夜間、Delft において、女性3人が路上で立ち話をしていたところ、マークの無い車両を運転する警察官とおぼしき男性らに話しかけられ、突如ゴム弾の発砲をうけ負傷した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 対日感情

概ね良好。

5 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

6 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

安全対策に必要な情報を「領事事務所からのお知らせ」としてメール送信し、在留邦人に対する安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人をはじめ、治安機関、警備会社等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。